

広域振興局長

提出者

住所 〒601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町68番地

氏名 佐川急便株式会社

代表取締役社長 本村正秀

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

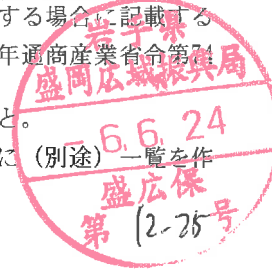
主たる工場又は事業場の名称	岩手営業所	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市湯沢10地割37-3	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	428 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	273 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
岩手営業所	岩手県盛岡市湯沢10地割37-3	220 kℓ
北上営業所	岩手県北上市流通センター601-39	53 kℓ
一関営業所	岩手県一関市赤荻字月町221-2	28 kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第71号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）





別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 令和5 ) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油		kL			kL					
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス										
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
可燃性天然ガス										
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭									
	輸入原料炭									
	コークス用原料炭									
	吹込用原料炭									
	一般炭									
	輸入一般炭									
輸入無煙炭										
石炭コークス		t			t					
コークス		t			t					
コークスガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
都市ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他の燃料										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオメタン		kL			kL					
バイオガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
混合廃材		t			t					
木炭		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料										
小計①										
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	1,920.13	千kWh	16,590		千kWh	16,590	916		916	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己発電(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電										
太陽光		千kWh			千kWh					
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh					
小計③						16,590	916		916	
合計 ④=①+②+③						16,590	916		916	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	428	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	916 t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素	t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量		t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量		t-CO <sub>2</sub>
六フッ化硫黄の排出量		t-CO <sub>2</sub>
三フッ化窒素の排出量		t-CO <sub>2</sub>
合計		916 t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (令和5年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	65 ( )	197,671 ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	452,692 kg-CO <sub>2</sub>	92.60%
軽油	208 ( 7 )	1,096,161 ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	2,871,357 kg-CO <sub>2</sub>	99.30%
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.477 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	273 ( 7 )			3,324,049 kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

R5年度については CO<sub>2</sub>排出量は前年度より削減できたが目標値は上回っているため、さらなる削減を目指す。

	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	基準値	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
二酸化炭素排出量	3,288,545	3,255,660	3,344,213	3,222,774	3,324,049	3,189,888	

【具体的な取組状況】

○エコドライブ

エコ安全ドライブで特に重要とされる項目について実践した。今後も引き続き実践する。

～エコ安全ドライブ7ヶ条～

- ①「ふんわりアクセル『eスタート』」の実践
- ②シフトアップは早目に操作
- ③交通状況に応じた、定速走行での運行
- ④十分な車間距離の確保
- ⑤早目のアクセルオフでエンジンプレーキの活用
- ⑥駐車時は、キー抜き(エンジン停止)の励行
- ⑦日常の点検・整備と空気圧管理

○輸送の合理化

モーダルシフトの推進を図った。

○電動車

ハイブリッド車、EV車両の導入を今後も推進する。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

・事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減など、実効性のある環境負荷低減活動について

当社ホームページにて紹介しています。

～佐川急便ホームページ(環境への取組)～

<https://www.sagawa-exp.co.jp/csr/eco/>